

平成20年第2回景況調査結果について

2008年 6月13日
三重県農水商工部
(財)三重県産業支援センター

調査要領

1. 調査時点：2008年5月(下旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAX及びインターネットによるアンケート調査
4. 回答状況：323社(有効回答率 32.3%)
5. 調査企業の産業、従業員数、地域別(県民センター別)内訳

【産業別】

【従業員規模別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計	～29人	30～ 99人	100 人～	合計
対象企業数	86	287	65	267	22	273	1,000	528	219	253	1,000
回答企業数	37	92	27	66	16	85	323	150	79	94	323
構成比(%)	11.5	28.5	8.4	20.4	5.0	26.3	100.0	46.4	24.5	29.1	100.0

【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	152	116	132	90	29	25	1,000
回答企業数	35	82	40	44	34	39	30	9	10	323
構成比(%)	10.8	25.4	12.4	13.6	10.5	12.1	9.3	2.8	3.1	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター (桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町)
 四日市県民センター (四日市市・菟野町・朝日町・川越町)
 鈴鹿県民センター (鈴鹿市・亀山市)
 津県民センター (津市)
 松阪県民センター (松阪市・多気町・明和町・大台町)
 伊勢県民センター (伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町)
 伊賀県民センター (伊賀市・名張市)
 尾鷲県民センター (尾鷲市・紀北町)
 熊野県民センター (熊野市・御浜町・紀宝町)

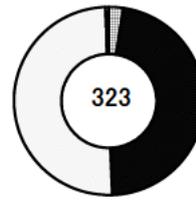
平成20年5月31日現在

II 概要 (主な調査項目のD I値の推移)

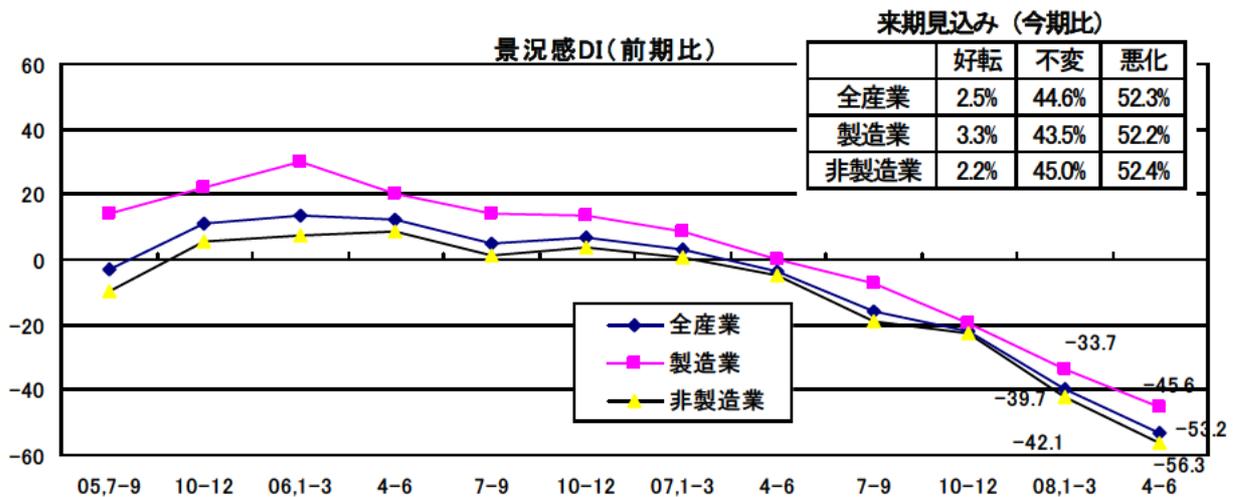
1. 景況感

今期の県内景気は「良い」2.5%、「ふつう」47.1%、「悪い」49.8%となっています。
 景況感D I (前期比) は全産業でマイナス53.2ポイントと前回より13.5ポイント悪化しました。
 また、来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っています。

今期の景況感



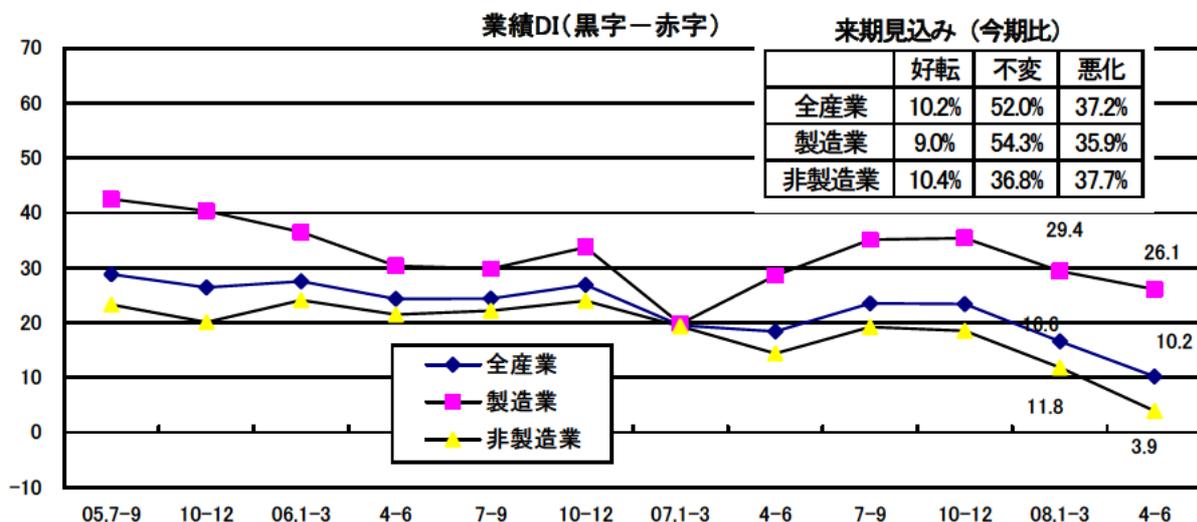
■ 良い	2.5%
■ ふつう	47.1%
□ 悪い	49.8%
□ 無回答	0.6%



景況感D I = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

2. 業績

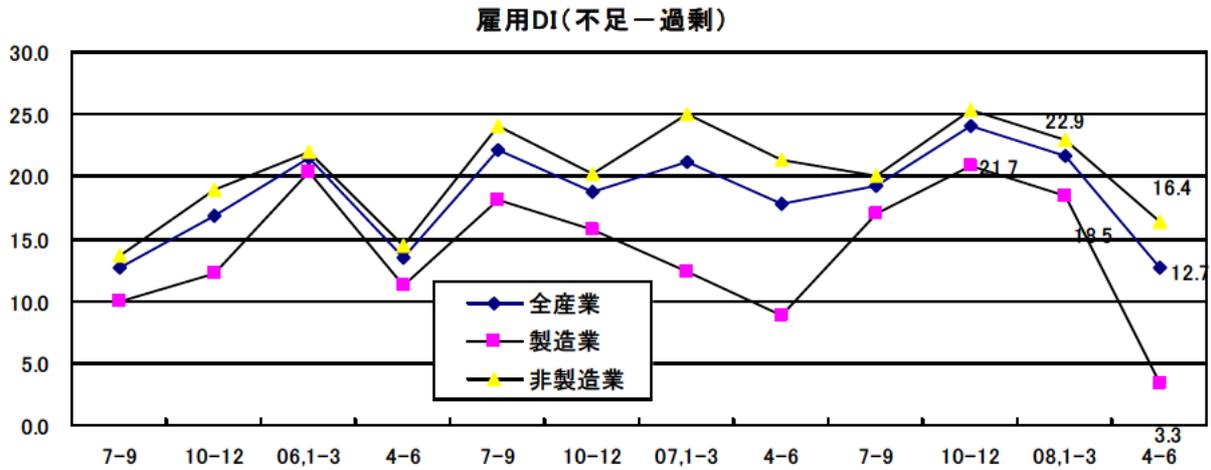
今期の業績D I (利益状況) は全産業でプラス10.2ポイントと前回は6.4ポイント悪化しましたが、「黒字」とする企業の割合が「赤字」とする企業の割合を2003年1-3月の調査から引き続き上回っています。
 来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を27.0ポイント上回りました。



業績D I = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

3. 雇用

雇用DIは全産業でプラス12.7ポイントと前回より9.0ポイント悪化するも、雇用状態が「不足」とする企業の割合が「過剰」とする企業の割合を16期連続で上回っています。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

4. 要約

今期の県内企業の景況は、景況感DIは前回を下回り5期連続のマイナスとなりました。業績DIは卸・小売り及び運輸・通信が前回を上回りましたが全産業では前回を下回りました。雇用DIは、依然、全産業で労働力の「不足」感を示しています。

5. 産業別

全産業 (回答323社)

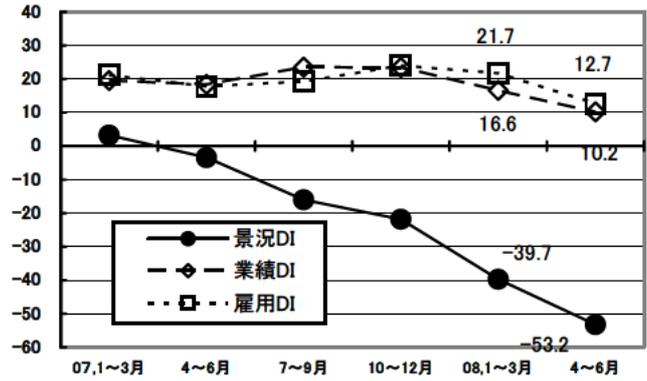
景況感はさらに悪化し、5期連続マイナス。業績、雇用も悪化。

景況感DI (前期比) は、全産業でマイナス53.2ポイントとなり、前回より13.5ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス10.2ポイントとなり、前回より6.4ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス12.7ポイントとなり、前回より9.0ポイント悪化しました。

全産業の主要DI 推移



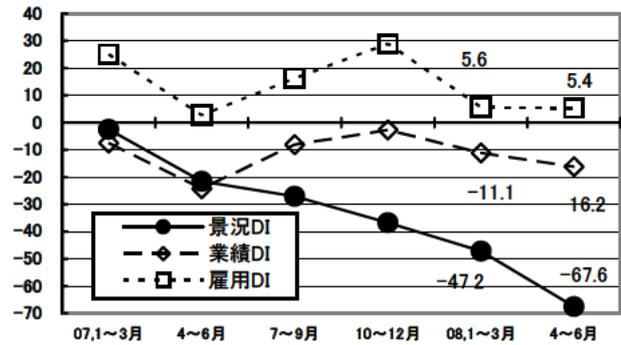
建設業 (回答37社)

景況感はさらに悪化し、マイナスが続く。業績は悪化。

景況感DI (前期比) は、建設業でマイナス67.6ポイントとなり、前回より20.4ポイント悪化しました。また、業績DIはマイナス16.2ポイントとなり、前回より5.1ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス5.4ポイントで、前回より0.2ポイント悪化しました。

建設業の主要DI 推移



製造業 (回答92社)

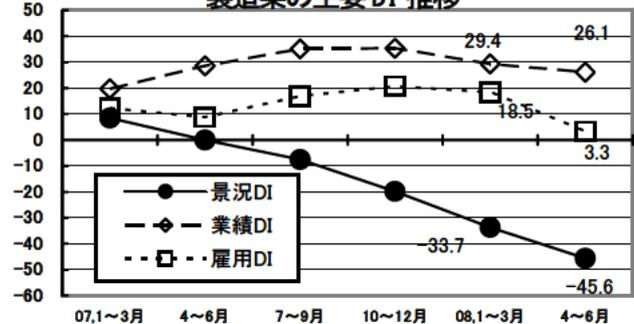
景況感はさらに悪化し、マイナスが続く。業績、雇用も悪化。

景況感DI (前期比) は、製造業でマイナス45.6ポイントとなり、前回より11.9ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス26.1ポイントとなり、前回より3.3ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス3.3ポイントとなり、前回より15.2ポイント悪化しました。

製造業の主要DI 推移



運輸・通信業 (回答27社)

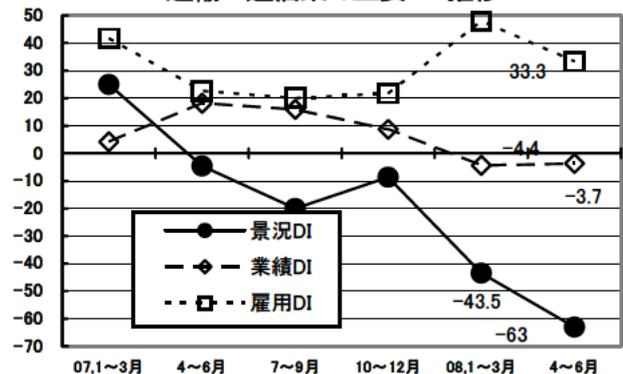
景況感はさらに悪化。業績は少し上向くものの、雇用は再び下降。

景況感DI (前期比) は、運輸・通信業でマイナス63.0ポイントとなり、前回より19.5ポイント悪化しました。

また、業績DIはマイナス3.7ポイントとなり、前回より0.7ポイント上回りました。

雇用DIはプラス33.3ポイントとなり、前回より14.6ポイント悪化しました。

運輸・通信業の主要DI 推移



卸・小売業 (回答66社)

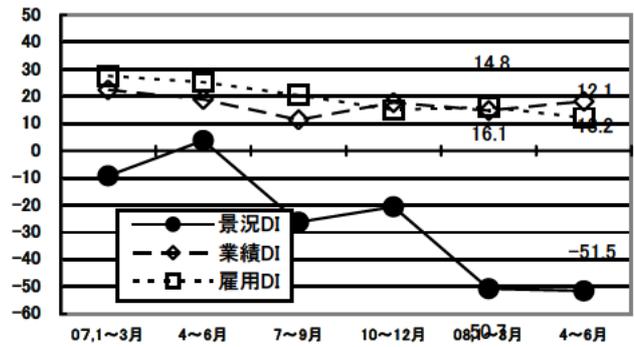
景況感は僅かに悪化。業績は僅かに改善。
雇用は悪化。

景況感DI (前期比) は、卸・小売業でマイナス51.5ポイントとなり、前回より0.8ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス18.2ポイントとなり、前回より3.4ポイント上回りました。

雇用DIはプラス12.1ポイントとなり、前回より4.0ポイント悪化しました。

卸・小売業の主要DI推移



金融・保険業 (回答16社)

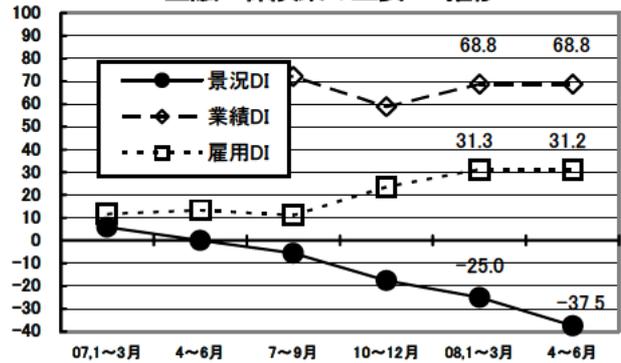
景況感はさらに悪化。
業績、雇用は横ばい。

景況感DI (前期比) は、金融・保険業でマイナス37.5ポイントとなり、前回より12.5ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス68.8ポイントとなり、前回と同じとなりました。

雇用DIはプラス31.2ポイントとなり、前回とほぼ同じになりました。

金融・保険業の主要DI推移



サービス業 (回答85社)

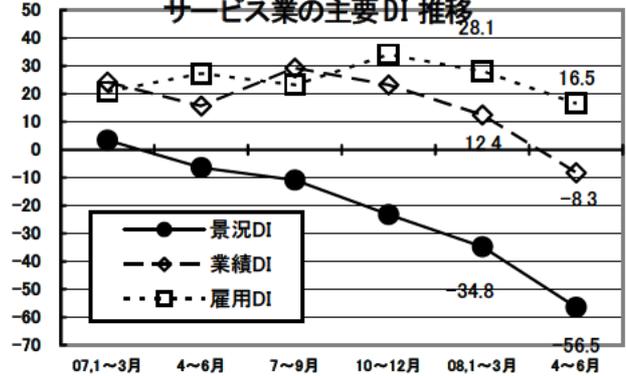
景況はさらに悪化。
業績は大きく悪化。雇用も悪化。

景況感DI (前期比) は、サービス業でマイナス56.5ポイントとなり、前回より21.7ポイント悪化しました。

また、業績DIはマイナス8.3ポイントとなり、前回より20.7ポイント大幅に悪化しました。

雇用DIはプラス16.5ポイントとなり、前回より11.6ポイント悪化しました。

サービス業の主要DI推移



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期=2008年1~3月 今期=2008年4~6月 来期=2008年7~9月

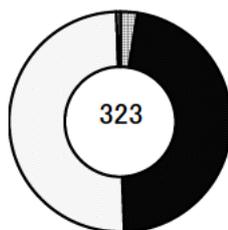
III 県民センター別の主要DI

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	-51.4	-54.9	-47.5	-50.0	-58.9	-48.7	-56.7	-55.6	-70.0	-53.2
前期	-22.3	-30.1	-47.1	-41.4	-44.8	-50.0	-40.6	-87.5	-50.0	-39.7
今期業績DI	22.9	23.2	5	18.2	-5.9	2.5	0	0	-30	10.2
前期	16.6	27.7	32.3	24.1	-2.7	-5.2	25.0	-12.5	-20.0	16.6
今期雇用DI	25.7	17.1	5.0	15.9	5.8	15.4	-6.6	22.2	10	12.7
前期	19.4	31.3	23.5	17.3	13.2	15.8	21.9	12.5	30.0	21.7

IV全調査項目の結果詳細

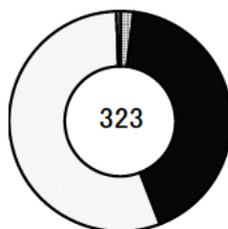
1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」2.5%(8社)、「ふつう」47.1%(152社)、「悪い」49.8%(161社)となっています。



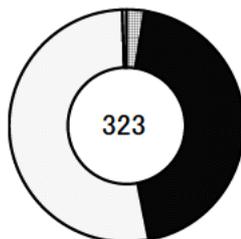
□ 良い	2.5%
■ ふつう	47.1%
□ 悪い	49.8%
□ 無回答	0.6%

(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」1.9%(6社)、「不変」42.4%(137社)、「悪化」55.1%(178社)となっています。



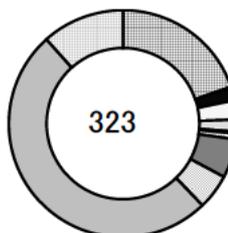
□ 好転	1.9%
■ 不変	42.4%
□ 悪化	55.1%
□ 無回答	0.6%

(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」2.5%(8社)、「不変」44.6%(144社)、「悪化」52.3%(169社)となっています。



□ 好転	2.5%
■ 不変	44.6%
□ 悪化	52.3%
□ 無回答	0.6%

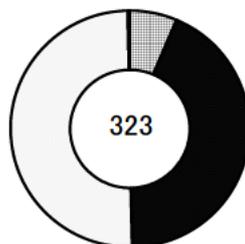
(4) 国内景気の回復時期については、「2009年4月以降」が50.5%(163社)でもっとも多く、次いで「2007年6月以前」が19.8%(64社)、「2008年10～12月」が5.6%(18社)の順となっています。



□ 2007年6月以前	19.8%
■ 2007年7～9月	1.9%
□ 2007年10～12月	2.8%
□ 2008年1～3月	1.5%
□ 2008年4～6月	0.3%
□ 2008年7～9月	0.9%
■ 2008年10～12月	5.6%
□ 2009年1～3月	5.0%
□ 2009年4月以降	50.5%
□ 無回答	11.8%

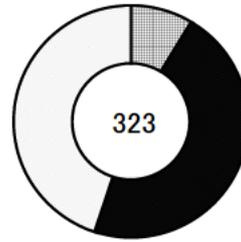
2. 業況

(1) 今期の業況については、「良い」6.5%(21社)、「ふつう」43.3%(140社)、「悪い」49.8%(161社)となっています。



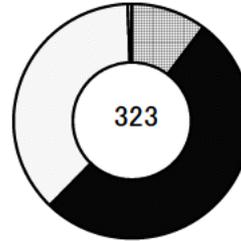
□ 良い	6.5%
■ ふつう	43.3%
□ 悪い	49.8%
□ 無回答	0.3%

(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」8.7% (28社)、「不変」46.4% (150社)、「悪化」44.9% (145社) となっています。



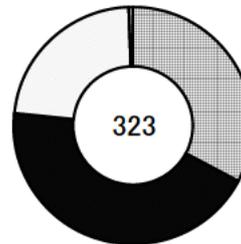
好転	8.7%
不変	46.4%
悪化	44.9%
無回答	0.0%

(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」10.2% (33社)、「不変」52.0% (168社)、「悪化」37.2% (120社) となっています。



好転	10.2%
不変	52.0%
悪化	37.2%
無回答	0.6%

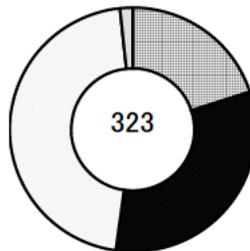
(4) 今期の利益状況については、「黒字」32.8% (106社)、「収支均衡」44.0% (142社)、「赤字」22.6% (73社) となっています。



黒字	32.8%
収支均衡	44.0%
赤字	22.6%
無回答	0.6%

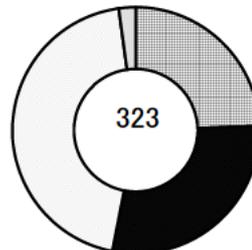
3. 売上高

(1) 売上高の前期比較については、「増加」20.1% (65社)、「不変」32.2% (104社)、「減少」46.1% (149社) となっています。



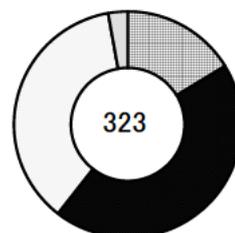
増加	20.1%
不変	32.2%
減少	46.1%
無回答	1.5%

(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」24.5% (79社)、「不変」28.5% (92社)、「減少」44.9% (145社) となっています。



増加	24.5%
不変	28.5%
減少	44.9%
無回答	2.2%

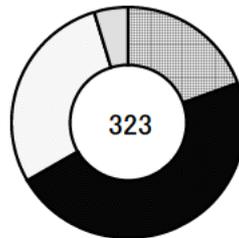
(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」16.4% (53社)、「不変」44.3% (143社)、「減少」36.5% (118社) となっています。



増加	16.4%
不変	44.3%
減少	36.5%
無回答	2.8%

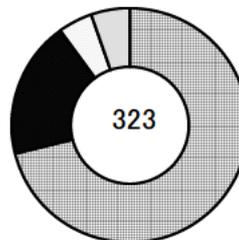
4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」19.5% (63社)、「不変」47.1% (152社)、「低下」28.8% (93社) となっています。



■ 上昇	19.5%
■ 不変	47.1%
□ 低下	28.8%
□ 無回答	4.6%

(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」71.2% (230社)、「不変」18.9% (61社)、「低下」4.6% (15社) となっています。

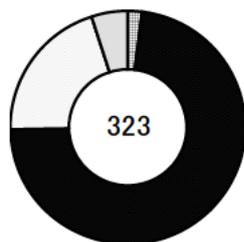


□ 上昇	71.2%
■ 不変	18.9%
□ 低下	4.6%
□ 無回答	5.3%

5. 資金繰り

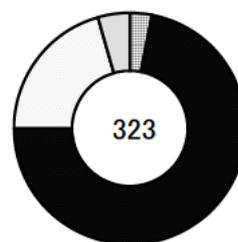
(1)・(2) の資金繰りについては、今期が72.8% (235社)、来期も71.8% (232社) の企業が「不変」としており、今期は「好転」が1.9% (6社)、「悪化」が20.4% (66社)、来期は「好転」が3.1% (10社)、「悪化」が20.7% (67社) と、今期・来期とも「悪化」が「好転」を上回っています。

今期資金繰り (前期比)



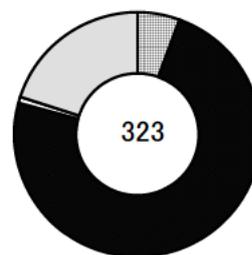
□ 好転	1.9%
■ 不変	72.8%
□ 悪化	20.4%
□ 無回答	5.0%

来期資金繰り (今期比)



□ 好転	3.1%
■ 不変	71.8%
□ 悪化	20.7%
□ 無回答	4.3%

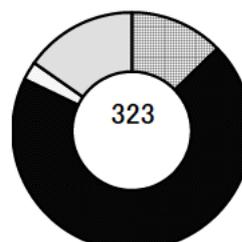
(3) 受取手形の期間は、「長期化」5.6% (18社)、「不変」73.7% (238社)、「短期化」0.6% (2社) となっています。



□ 長期化	5.6%
■ 不変	73.7%
□ 短期化	0.6%
□ 不明	20.1%

6. 製品 (商品)・原材料在庫

現在の製品在庫状況については、「過剰」12.7% (41社)、「適正」69.7% (225社)、「不足」2.5% (8社) となっています。

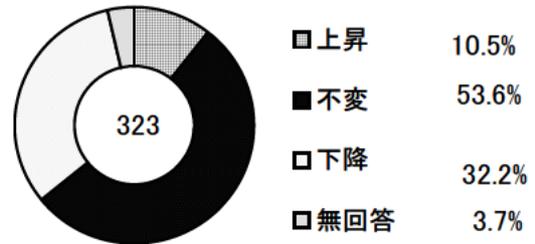


□ 過剰	12.7%
■ 適正	69.7%
□ 不足	2.5%
□ 無回答	15.2%

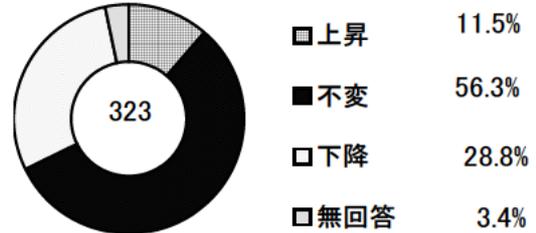
7. 設備投資意欲

〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」10.5% (34社)、「不変」53.6% (173社)、「下降」32.2% (104社) となっています。

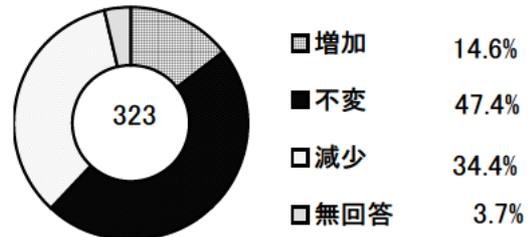


(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」11.5% (37社)、「不変」56.3% (182社)、「下降」28.8% (93社) となっています。



〔設備投資状況〕

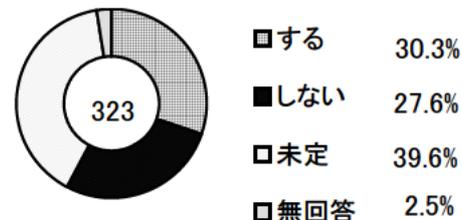
(3) 平成19年度上半期 (2007年4月～2007年9月) と比べた平成20年度上半期 (2008年4月～2008年9月) の設備投資計画額は、「増加」14.6% (47社)、「不変」47.4% (153社)、「減少」34.4% (111社) となっています。



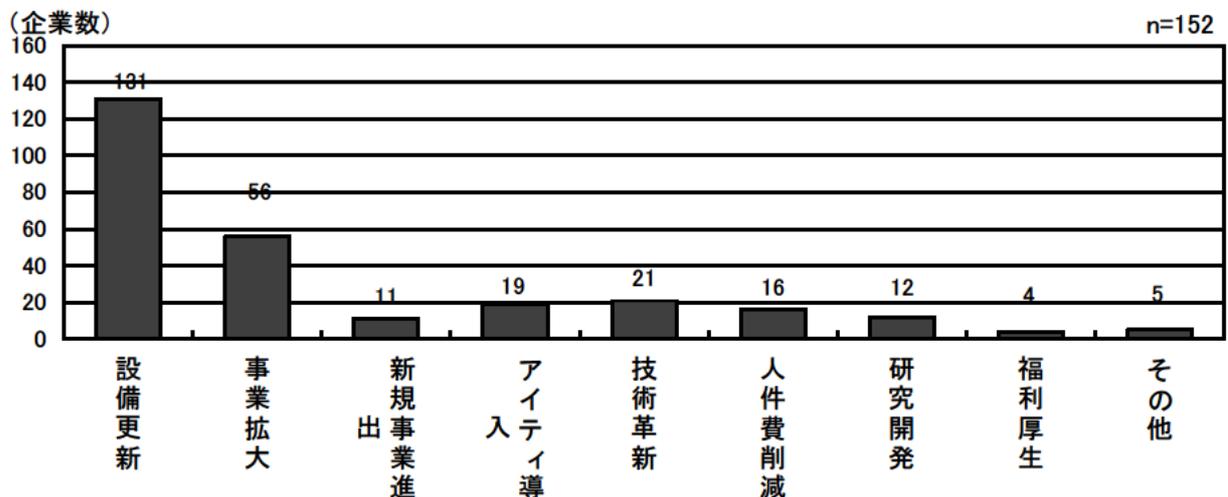
(4) 今期の設備投資予定は、「する」35.0% (113社)、「しない」41.5% (134社)、「未定」22.0% (71社) となっています。



(5) 来期の設備投資予定は、「する」30.3% (98社)、「しない」27.6% (89社)、「未定」39.6% (128社) となっています。

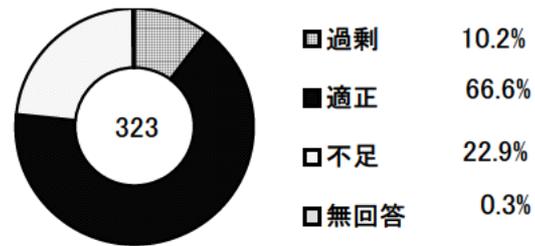


(6) 設備投資の主目的は、「設備更新」81.7% (138社)、「事業拡大」37.3% (63社) の順となっています。(複数回答可)



8. 雇用状態

(1) 今期の雇用状態については、「過剰」10.2% (33社)、「適正」66.6% (215社)、「不足」22.9% (74社)となっています。



(2) 不足の理由として、「新規採用が難しい」が10.2% (33社)、「期待する技能レベルの者が集まらない」9.6% (31社)、「離職率が高い」が5.9% (19社)の順になっています。

理由	新規採用が難しい	離職率が高い	期待する技能レベルの者が集まらない	その他	無回答
企業数	33社	19社	31社	5社	242社
率	10.2%	5.9%	9.6%	1.5%	74.9%

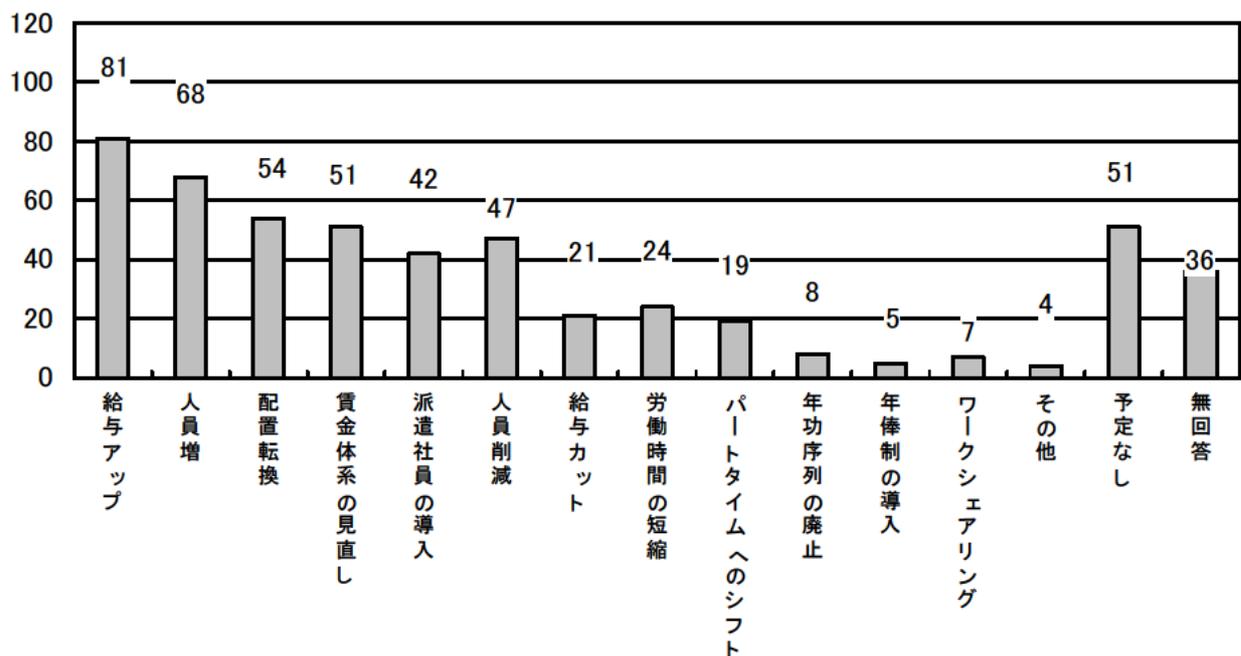
(3) 新規採用が難しい理由として、「ほしい人材が少ない」が9.9% (32社)、「大企業に流れる」が5.9% (19社)、「確保の手段が少ない・分からない」1.5% (5社)の順となっています。

理由	大企業に流れる	ほしい人材が少ない	確保の手段が無い・分からない	その他	無回答
企業数	19社	32社	5社	6社	261社
率	5.9%	9.9%	1.5%	1.9%	80.8%

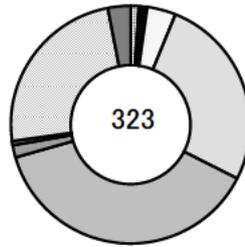
(2) 過去1年に行った、あるいは行う予定の雇用問題対策は、「給与アップ」33.8% (114社)、「人員増」28.8% (97社)、「配置転換」が17.2% (58社)の順となっています。(複数回答可)

(企業数)

n=323



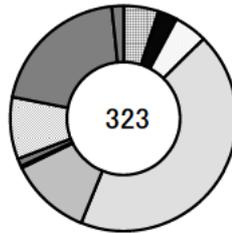
9. ベースアップまたはダウン見込み
 ベースアップまたはベースダウンの見込みについては、「1～5%程度のベースアップ」38.1% (123社)、「定昇なし」26.3% (85社)、「1～5%程度のベースダウン」4.0% (13社)の順となっています。



10%超のベースダウン	1.2%
6～10%のベースダウン	0.9%
1～5%のベースダウン	4.0%
定昇なし	26.3%
1～5%のベースアップ	38.1%
6～10%のベースアップ	1.5%
10%超のベースアップ	0.6%
未定	24.1%
無回答	3.1%

10. 夏のボーナス

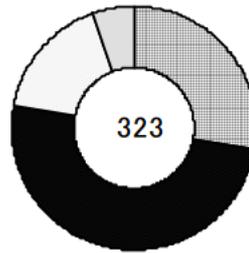
夏のボーナスの支給見込みについては、前年と「ほぼ同額」41.1% (132社)、「1～5%のアップ」16.2% (52社)、「支給なし」11.5% (37社)の順となっています。



10%超のダウン	5.0%
6～10%のダウン	2.8%
1～5%のダウン	4.6%
ほぼ同額	43.7%
1～5%のアップ	11.8%
6～10%のアップ	0.3%
10%超のアップ	0.9%
支給なし	9.0%
未定	20.4%
無回答	1.5%

11. 資金調達

(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」27.9% (90社)、「ない」50.2% (162社)となっています。

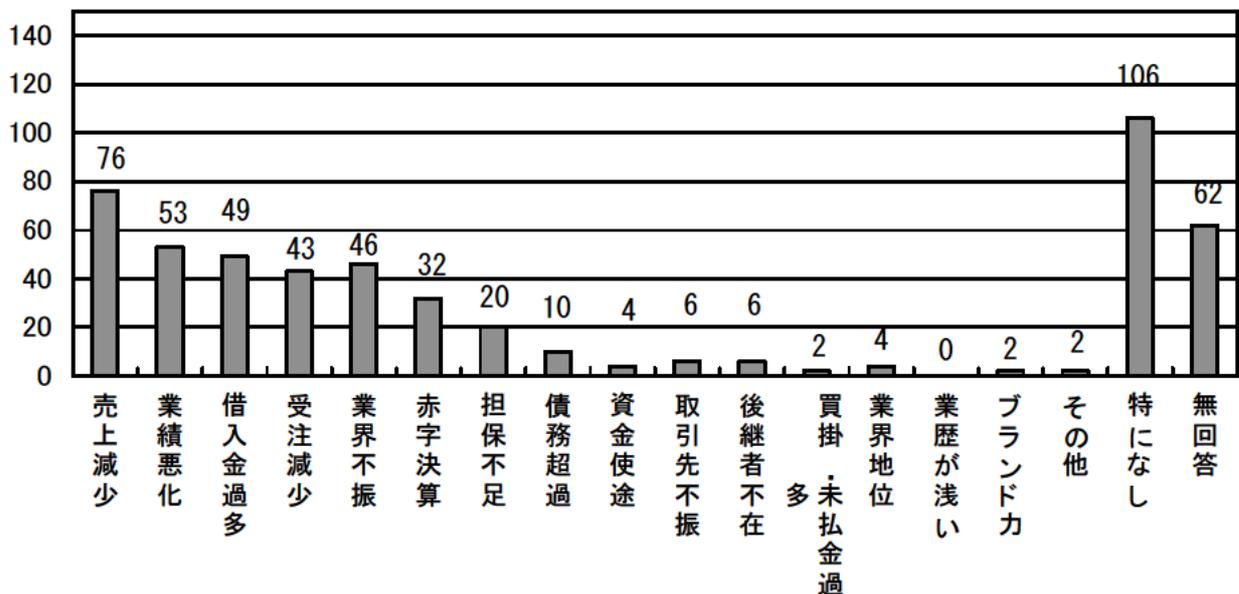


ある	27.9%
ない	50.2%
分からない	16.4%
無回答	5.6%

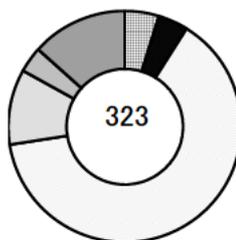
(2) 借入にあたっての問題については、「売上減少」23.5% (76社)、「業績悪化」16.4% (53社)、「借入金過多」15.2% (49社)の順となっています。(複数回答可)

(企業数)

n=323

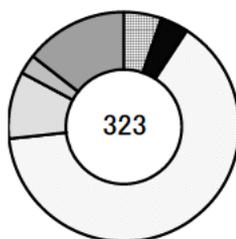


(3) 前期と比べた今期の長期資金借入れ難度は、「容易」4.6% (15社)、「やや容易」4.3% (14社)、「不変」63.5% (205社)、「やや困難」10.5% (34社)、「困難」3.7% (12社) となっています。



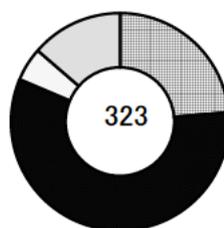
容易	4.6%
やや容易	4.3%
不変	63.5%
やや困難	10.5%
困難	3.7%
無回答	13.3%

(4) 前期と比べた今期の短期資金借入れ難度は、「容易」5.3% (17社)、「やや容易」4.0% (13社)、「不変」64.1% (207社)、「やや困難」9.3% (30社)、「困難」2.8% (9社) となっています。



容易	5.3%
やや容易	4.0%
不変	64.1%
やや困難	9.3%
困難	2.8%
無回答	14.6%

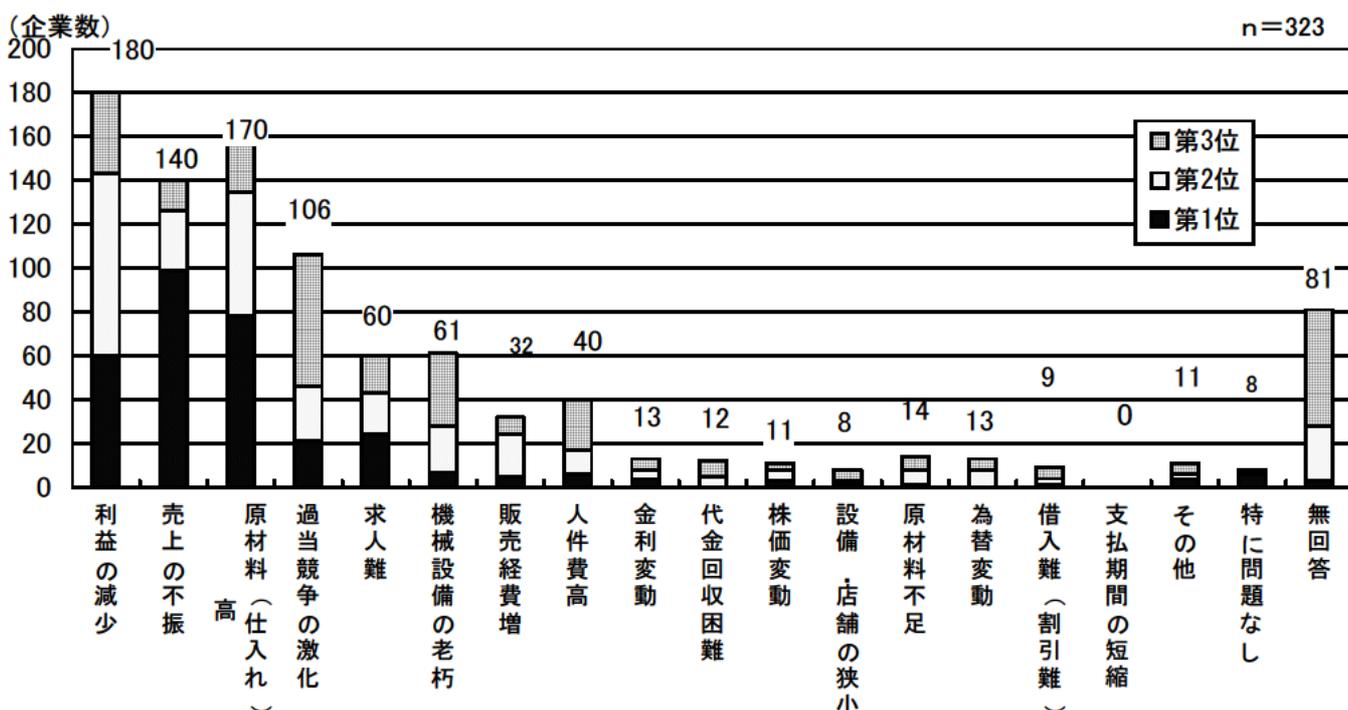
(5) 前期と比べた今期の借入れ金利は、「上昇」23.5% (76社)、「不変」57.9% (187社)、「低下」5.0% (16社) となっています。



上昇	23.5%
不変	57.9%
低下	5.0%
無回答	13.6%

12. 経営上の問題

(1) 経営上の問題点としては、「利益の減少」55.8% (180社)、「原材料(仕入れ)高」52.5% (170社)、「売上の不振」43.4% (140社) の順となっています。(上位3項目選択)



(2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」57.0% (184社)、「助成制度」31.6% (102社)、「公共事業の増加」30.0% (97社)の順となっています。(複数回答可)

(企業数)

n=323

